

〔執筆者紹介〕（掲載順）

※ 討論会については略す

西村 芳将（にしむらよしまさ） 公文書館副主幹

伊藤 康（いとう やすし） 公文書館総括専門員

葛西 大和（かさい やまと） 元山形大学教授

池本 榮（いけもとさかえ） 山上まちづくり協議会員

山内 美緒（やまうち みお） 公文書館専門員

〔編集後記〕

二年ぶりの研究紀要である。内容の充実を図るために隔年の刊行としたが、それが効を奏したかどうか、まずは読者諸賢のご叱正を待ちたいところである。

さて、当県では平成二四年度より公文書管理条例が施行される。都道府県では三番目の施行であるが、今号では、それを受けた原稿を二本掲載した。巻頭の討論会であるが、討論者にはあらかじめ「職場の現状や問題を忌憚なく述べて欲しい」と依頼しておいた。続く当館職員によるアーカイブズ論もあわせてご覧いただきたい。

今号のもうひとつの特集は、「たたら」である。これは、九月に日野町で巡回講座を開催したことが関係している。

二日間で四本の講座を実施したが、それを、講演録や史料翻刻という形で掲載している。東日本大震災という未曾有の災害に直面している今日であるが、当館が「たたら」に関わる契機となったのは鳥取県西部地震であった。被害規模は比ぶべくもないが、不幸にも災害に遭遇した歴史資料を、どのように救済して保存・活用していけばよいか、その理解の一助となれば幸いである。

最後に、研究会で共催いただいた国立公文書館と討論者の皆さん、葛西大和さん、池本榮さん、池本拓さん、たたら顕彰会の皆さんにはあらためてお礼申し上げます。

（二二・二・四 伊藤ヤ）

鳥取県立公文書館研究紀要 第七号

平成二四（二〇二二）年三月二三日 発行

編集・発行 鳥取県立公文書館

〒六八〇一〇〇一七

鳥取市尚徳町一〇一

TEL〇八五七二二六八一六〇

印刷 有限会社米子プリント社